

拡大する看護の役割

団塊世代が75歳以上になる2025年。急激に高齢者が増えることに対応し、医療・介護連携も踏まえて地域包括ケアの仕組み作りが叫ばれています。この中で、看護の役割は、様々な分野で期待され、病院などの医療機関内のみならず、地域で暮らす人々への訪問看護や、高齢者施設での看取りも視野に入れた看護もますます需要が増えることが予測されます。

また、地域の方々の身近な所で、相談事業などの予防活動を展開することも必要となり、予防から看取りまで、幅広く活動の場が広がってきています。拡大する看護の役割を多くの方に知っていただきたいと思います。

- 聴講無料
- 事前申込
- 定員300名(申込み順)
5月7日(月)までにお申込みください。

日時

2018年5月19日(土)
13時45分~14時45分

会場

常磐大学 H棟大講義室

講師

秋山 正子氏

白十字訪問看護ステーション 統括所長
暮らしの保健室室長・マギーズ東京センター長



案内図



*お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

略歴

秋田県生まれ 聖路加看護大学卒業後、臨床及び看護教育に従事
実姉の末期がんの看取りを経験時に、在宅ホスピスケアに出会い1992年から東京都新宿区にて訪問看護を開始。2001年母体法人の解散に伴い会社設立。現在(株)ケアーズ代表取締役、白十字訪問看護ステーション統括所長として、新宿区及びを東久留米市にて訪問看護・居宅介護支援・訪問介護の3事業を展開。

2011年高齢化の進む巨大団地に暮らしの保健室開設。2015年、四谷坂町に看護小規模多機能(複合型)坂町ミモザの家を開設。がん患者と家族のための相談支援の場、マギーズセンターを東京にとNPO活動を展開し豊洲に2016年10月オープン。センター長就任。

事前の申込みをお願い致します。

氏名・住所・電話番号を記載し、「看護学部開設記念講演会申込」と記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。

<申込み・お問い合わせ>

〒310-8585 茨城県水戸市1-430-1

常磐大学総務課 TEL:029-232-2501 FAX:029-231-6078

E-mail: soumu@tokiwa.ac.jp

